

第61回郡山市子ども・子育て会議 会議録

【日時】

令和7年2月5日（水）午後2時00分～午後3時35分

【場所】

郡山市総合福祉センター5階 集会室

【次第】

1 開会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 「郡山市こども・若者計画」パブリックコメントの結果について
(こども総務企画課 報告)

(2) 「郡山市こども・若者計画」実施計画について
(こども総務企画課 報告)

(3) 郡山市放課後児童クラブの増設について
(こども総務企画課 報告)

(4) 郡山市放課後児童クラブの利用者アンケート結果について
(こども総務企画課 報告)

(5) その他

4 閉 会

【出席委員】

19名（敬称略）

吾妻 利雄、阿部 光浩、伊藤 清子、小板橋 眞由美、佐藤 明宏、佐藤 広美、鈴木 綾、先崎 洋子、高橋 智樹、滝田 良子、竹田 沙織、遠野 馨、濱津 真紀子、福内 浩明、柳内 祐一、安田 洋子、山上 裕子、山田 祐陽、渡邊 孝男

【欠席委員】

3名（敬称略）

金田 義広、佐藤 一夫、隅越 誠

【事務局職員】

17名

こども部	：大沼 伸之（部長）、 渡部 洋之（こども部次長兼こども家庭課長兼母子・父子福祉センター所長（併）教育委員会事務局学校教育部次長） 伊藤 恵美（こども部次長兼こども総務企画課長）、 佐藤 香（教育委員会事務局学校教育部次長（併）こども部次長）
こども総務企画課	：中川 清能（課長補佐）、 日下部 雅規（主任主査兼こども企画係長）、 佐藤 麗子（こども企画係主任）
子育て給付課	：田母神 裕一（課長）、 桜岡 智之（課長補佐）
こども家庭課	：若穂 富江（課長補佐）、 岩崎 由美子（主任主査兼こども家庭相談支援係長）
保育課	：結城 弘勝（課長）、 山木 郁子（課長補佐兼保育士・保育所支援センター所長）、 石川 茂人（主任主査兼保育所管理係長）、 登柳 克史（保育認定係長）、 澤井 穰次（主任主査兼保育料係長）、 浦井 康次郎（主任主査兼保育事業支援係長）

【配布資料】

資料１－１	郡山市こども・若者計画のパブリックコメントの結果について
資料１－２	「郡山市こども・若者計画（案）」にお寄せいただいた御意見等と市の考え方
資料２－１	郡山市こども・若者計画 実施計画について（案）
資料２－２	こども・若者計画と第２期ニコプランの施策体系対応関係
資料３－１	放課後児童クラブ増設概要
資料３－２	放課後児童クラブ設置（R7.4 開設）

- 資料４－１ 放課後児童クラブ利用者アンケートの推移
- 資料４－２ 放課後児童クラブ利用者アンケート集計結果
- 資料４－３ 放課後児童クラブ児童用アンケート集計結果
- 資料５ (当日配布) 2025.3.1 見込み 待機児童数・継続入所希望児童数
- 資料その他 (当日配布) 乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)

1 開会

(中川こども総務企画課長補佐)
事務局からの事務連絡
【会議内容の公開について】

【傍聴希望者が13名おり、郡山市附属機関等の会議の公開に関する要領の規定により
会長が許可することとなっていることから、滝田会長にお諮りし、許可を得る。】

<傍聴者が入室する。>

2 会長あいさつ

本日は足元の悪い中で出席いただき、感謝を申し上げます。

本日の第61回で、これまでの皆様の英知の結集として、郡山市のこども・若者計画が
ほぼ完成する。これから郡山市を担っていくこども・若者たちのために、この冊子を残
していきたいと考えている。

3 議事

(中川こども総務企画課長補佐)
「議事」に移るが、以降の会議の進行については、滝田会長に議長をお願いする。

(滝田議長)
議長を務めさせていただく。議事(1)「郡山市こども・若者計画」パブリックコメン
トの結果について事務局から説明をお願いする。

【事務局：日下部こども総務企画課主任主査兼こども企画係長から資料1-1、資料1
-2に沿って、パブリックコメントの結果・意見及び市の考え方を説明】

(滝田議長)
事前の意見については、庁内で検討・回答があった。事務局の説明に対して、御質問
や御意見があれば、お願いしたい。

(竹田委員)
郡山市こども・若者計画について、様々な意見や質問を集めてきたと思うが、一般の
方やこどもからこういった意見が集まるのか気になっていた。これまでに8件の意見が
来ていると思うが、そのうち2件がこどもの意見ということである。しかし、2件のう
ち1件を見ると、「学校に行けないお子さんもいらっしゃいます」といった表現が文中に
あり、こどもが自分たちの友達を「お子さん」と表現するだろうか少し疑問に思った。
こどもの意見はもっと多く集まったほうが良かったと考える。

「マチコミ」という学校から保護者宛ての連絡アプリがあるが、「マチコミ」に、1月10日にこども総務企画課から、本件についてお願いが届いていた。PDFファイルが添付されており、そのPDFを開くとURLが貼ってあり、その中を見ていくと、こども向けの概要版があり、「意見をください」と書かれていた。しかし、こどもが大人のスマホを使って、そのPDFの中からURLを開いて、こども向けの情報を見て意見を出すのは、あまり一般的ではないと思われる。

今後の策定時には、もっとこどもの意見が集まるように工夫する必要があるのではないかと感じている。例えば、図書館や市民プールなど、こどもが集まりやすい場所で情報を掲示して、「これを作っていますが、もっとこうなったらいいと思うことがあれば意見をください」と呼びかけるような方法を取ることで、こどもの意見がもっと集まりやすくなると思う。

(日下部主任主査兼こども企画係長)

こどもからの意見がもう少し頂けるものと考えていたが、委員の御意見のとおり、募集方法については少し至らない点があったと感じた。

今後、計画の改定などがある際には、広く意見を募る方法を検討したいと考えている。

(滝田議長)

議事(2)「郡山市こども・若者計画」実施計画について事務局から説明をお願いします。

【事務局：日下部こども総務企画課主任主査兼こども企画係長から資料2-1、資料2-2に沿って郡山市こども・若者計画実施計画案を説明】

(鈴木委員)

資料の2-2をご説明いただいたが、第2期ニコプランの施策体系の部分と、今後実施するこども・若者計画の部分の紐付けについて質問させていただきたい。空欄部分については、今後どのような進め方をするのか。現在実施している事業を当てはめて整理していると思うが、空欄の部分については、現時点で当てはまる事業がないと認識している。今後の空欄部分の進め方について決まっていれば、教えていただきたい。

(日下部主任主査兼こども企画係長)

現時点で空欄部分の事業が紐づいていないものについては、庁内への照会により回答のあった事業のほか、こども総務企画課で把握した事業を位置付けていく。こうした方法により、施策の展開や基本目標の達成に繋がる事業の掘り起こしを進めていく。

(山上委員)

対象外とする事業についても、いずれも重要な内容だと思っている。今後、こちらで挙げられた事業については、別の部署に移動するのか、それともその部署で再検討されるのか、あるいは新プランの中で位置付けが変わるのか、その辺りについてご説明いただきたい。

(日下部主任主査兼こども企画係長)

例示しているものはまだ案の段階であり、今後それぞれの事業を実施している部署に

確認を取り、実施計画として整理していきたいと考えている。こども部として、庁内の各事業を整理し、実施計画としてまとめる形になる。事業自体をどこかの部署に移管するというのではない。例えばZ世代職員アイデア創出事業の新規追加については、政策開発課で引き続き実施される形となる。こども・若者計画に記載されることによって、こども部が担当するというのではない。

(滝田議長)

議事(3)郡山市放課後児童クラブの増設について事務局から説明をお願いします。

【事務局：伊藤こども部次長兼こども総務企画課長から資料3-1、資料3-2に沿って放課後児童クラブの増設について説明】

(滝田議長)

諸条件をクリアしながら増設されたということだが、それでもまだ十分な増設ではないと、事務局でも認識していると思う。委員の皆様からの御意見をお願いしたい。

(安田委員)

全体像が把握できていないため、実際に利用されている方々について、例えば新規で申し込んでいる方がどのくらいの数で、継続している数がどのくらいなのか、具体的な数値がわかれば教えていただきたい。

(伊藤こども部次長兼こども総務企画課長)

まず年内に低学年の募集を受け付け、その後、空き状況を見ながら高学年の募集を行っている。今回の整備については、予測に基づいて、現在保育所に通っている子供たちや今後の小学校児童数の推移を見ながら増設を行っている。予測はほぼ当たるが、待機児童や入所申し込みの状況については、年度が明けてから改めてお示しする予定である。

(安田委員)

現在の予測に基づいて増設を行っているわけだが、予測内容を詳しく教えていただくことは難しいか。

(伊藤こども部次長兼こども総務企画課長)

予測している中で、低学年の受入は問題ない状況である。

(安田委員)

見込みを踏まえて増設しているのであれば、どのくらいの数を予測しているのか教えていただけないだろうか。記載されている数字が上限と考えてよいのだろうか。

(伊藤こども部次長兼こども総務企画課長)

そのとおりである。この定員については、予測で見込んだ増員した人数としている。

(安田委員)

待機児童がまだ解消できないという説明もあった。この定員では足りないのではないかと憶測したが、どのように考えているか。

(伊藤こども部次長兼こども総務企画課長)

説明不足な点があり、申し訳ない。あくまでも、低学年については十分に受け入れられる人数を見込んでの増設である。しかし、4年生以上でも預けたいという希望を持つ方々がいるものの、現状では、4年生以上については希望しても入れない状況がある。

(安田委員)

増設について、明健小と行健第二小の2つのクラブが一緒の建物に入ることだが、この近隣には公園や運動できる設備はあるだろうか。

(伊藤こども部次長兼こども総務企画課長)

地図を見ていただくと、行健第二小に関しては、現在増設を行いながら、第1教室は学校の敷地内のプレハブ、第2教室は近くの消防のコミュニティーセンターを使用している。第3教室は民間の施設を借りている形だが、第3教室の裏には八山田公園の広い敷地がある。第3教室はその場所を使い、体を使って活動を行っている状況であり、新たな教室についても、その八山田公園を利用して外遊びを行う予定である。

(阿部委員)

幼稚園・認定子ども園連合会として、要望をお伝えしたい。現在、郡山市から児童クラブの増築・新築に対してお金を出してくれるのは良いが、幼稚園連合会としては、10万円を学童・民間の学童クラブに提供している。その中で、役員会や定例会で、学童の待機児童をなくすために、民間学童をやってくれないかという話はさせていただいている。しかし、幼稚園の施設なので、先ほど話したように、幼稚園児と小学生では体つきも違い、遊具や施設が必要である。私の幼稚園は、20年前から学童をやっているため新たに施設を作る必要はないが、他の幼稚園では新たに施設を作らなければならず、遊具も新たに作らなければならない。国では学童の施設整備に関して補助が出るが、郡山市の方ではまだそこまでの補助は出せないということで、要望を伝えているところである。

当方の学童は現在60人程度で、6年生が2人いる。その2人は中学校に進学するため、学童を出るが、4年生と5年生は出ない。さらに、年長の園児が卒園すると、学童で20名がそのまま上がるため、人数が70人～80人となる。そうなった場合には、先ほどプレハブという言葉が説明の中で出たが、プレハブでも全然無駄にはならない。当園でも園庭に学童の施設をプレハブで作っている。市からの補助金や助成金について、できるだけ検討いただければ幸いである。

(滝田議長)

議事(4)郡山市放課後児童クラブの利用者アンケート結果について、事務局から説明をお願いする。

【事務局：伊藤こども部次長兼こども総務企画課長から、資料4-1、資料4-2、資料4-3に沿って放課後児童クラブの利用者アンケート結果について説明】

(滝田議長)

民間委託ということで、様々な方面で努力をされていることがうかがえる部分もあった。このアンケート結果を踏まえ、御意見や御質問があれば、お願いしたい。

(高橋委員)

利用者アンケートの結果ということであるが、職員へのアンケートは実施されているか。

(伊藤こども部次長兼こども総務企画課長)

明日葉の対応として、処遇に関する意見なども含めたヒアリングを行っている。まだこちらに結果は届いていないが、新年度を踏まえた異動等の事柄も予想されるため、その点についても明日葉側が対応している。

(高橋委員)

直営からそのまま契約が継続された方もいると思われるが、雇用条件や等で多少のトラブルもあつただろうと思われる。そのため、今まで働いていた方々が満足しているかどうかを確認する必要があるのではないかと考える。

(滝田議長)

次に、議題（５）「その他」について事務局から説明をお願いする。

【事務局：結城保育課長から、資料その他に沿って乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について説明】

(滝田議長)

国からの通知が届いた時点で、私たちもその内容をしっかりとお聞きしなければならないと考えている。本日は質問を受けても、当局としては答えられない部分があると思われるため、周知啓発という捉え方でよろしいだろうか。

(結城保育課長)

認可の際には、公募で申し込みがあった事業者の資料をお示ししながら、ご説明させていただきたいと考えている。

(吾妻委員)

認可保育所長会には、一時保育を行っている事業があり、そちらとの整合性がどうなるかが懸念される。

また、支援センターで行われている事業について、特に０歳・１歳・２歳のお子さんが多数利用している状況で、どのようにカウントをするのかという点も問題となる。時間が非常に限られている中での検討となるため、様々な考慮すべき点があるだろう。

認可保育所や所長会の園等で０歳児を受け入れていない園が多いという現状もある。住み分けや仮措置の方法についても検討していただきたいと考える。

(滝田議長)

一時保育事業との整合性や、小規模保育における0歳児の定員割れなど、そういった点についても考慮していただきたいという意見であった。それらも含めて、次回の説明の際にきちんと説明していただけるとありがたい。

(結城保育課長)

次回はその点を整理した上で、ご説明をさせていただく。

(滝田議長)

現時点では国から要綱が届いていないため、今後精査した上での質問の方が良いと思われる。ほかに事務局から議題があれば、説明をお願いします。

【事務局：登棚保育認定係長から資料5に沿って待機児童数・継続入所希望児童数について説明】

(滝田議長)

ほかに、委員の方から質問等あればお願いしたい。

(高橋委員)

遡った質問となるが、資料2-1の郡山市こども・若者計画の実施計画について、実施計画はいつごろまでに策定される予定であるか。

(日下部主任主査兼こども企画係長)

2月、3月で庁内の意見を集め、紐づく事業がどのようなものを精査し、4月から実施計画が始まることになる。3月の子ども・子育て会議の際に、集約結果を委員の皆様を示す予定である。

(滝田議長)

すべての議事が終了したため、議長の席を下ろさせていただきます。

4 閉会

(中川こども総務企画課長補佐)

次回、第62回会議は、令和7年3月24日の開催を予定している。

以上をもって、第61回郡山市子ども・子育て会議を終了する。

以上